

第1学年

このみちはね・・・

～1本の線から生まれる世界を楽しもう～

めあて・大筆に墨をつけて気持ち良く線を引くことができる。

- ・1本の線から「1本の道のある世界」を想像し、物語を書くように描くことができる。

準備物・四つ切画用紙（細長く切り、つなげる）、墨、筆、クレヨン



＜初めて墨で1本の線を描き、絵を描き足した。＞



＜道にしようと思いながら1本の線を墨で描き、周りの情景を描き足した。＞



＜恐竜時代の絵と電車の絵をつなげるために、2人でつくった話を絵に描いた。＞

学習の流れ	実践上の留意点
○墨で1本の線を描き、道に見立てて絵を描き足していく。	・四つ切画用紙を縦長に半分に切りつなげて、長い画用紙をつくらせる。 ・大筆に墨をたっぷり含ませて、長い画用紙に1本の線を引かせ、線を道に見立ててクレヨンで絵を描き足させる。
○墨で1本の道を描き、周りの情景を描き足していく。	・同じように画用紙や墨を用意し、大筆で道を1本描かせる。 ・自分の道の形から想像し、情景を描かせる。
○友だちと自分の道の話をし、自分の道と友だちの道の間にもう一枚「道と道をつなぐ道」の絵を2人で考えて描く。	・友だちと互いの道の世界の話をし合う時間をもつ。 ・互いの道をつなげる話し合いをさせ、2本の道をつなぐための道の絵を一緒に描かせる。
○2人のつないだ道の話を発表する。	・2人で道のお話やさんをし、お客さんに2人の道の話を楽しんでもらうようにする。

